

## 苫小牧港港湾脱炭素化推進協議会

### 開催趣旨について

港湾は、輸出入貨物の 99%以上が経由する国際サプライチェーンの拠点であり、我が国の CO2 排出量の約 6 割を占める発電所、鉄鋼、化学工業等の多くが立地する臨海部産業の拠点でもある。2050 年カーボンニュートラルが目標に掲げられる中、我が国の港湾及び臨海部産業の競争力の強化並びに脱炭素社会の実現に貢献するため、官民の関係者が連携して計画的かつ効果的に港湾における脱炭素化に取り組む必要がある。

このため、国土交通省では、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や、水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図る CNP の形成を推進しているところであるが、今般、改正港湾法において、CNP の形成を推進する仕組みとして、港湾脱炭素化推進計画及び港湾脱炭素化推進協議会に関する規定が新設された。

苫小牧港においては、令和 5 年 3 月に苫小牧港 CNP 形成計画を策定・公表したところであるが、改正港湾法に基づいて CNP 形成に向けた検討を進めるため、苫小牧港港湾脱炭素化推進協議会を開催するものである。